



おおしま まさし
大島 将志さん(33歳) 愛西市東保町

まわりの人に助けてもらいながら

1.1haのほ場でレンコンの栽培をしている大島将志さんは就農して1年目です。10年間会社員として勤めてきましたが、義父の農場経営を手伝ったことがきっかけで就農を志し、4年間義父の下で栽培について学んだ後に独立しました。「就農には、重機の購入や、収量が安定するまでの収入確保など、まとまったお金が必要になりますが、JA職員から制度の申請に関してサポートをしてもらえたので、安心して独立することができました」と話します。

今年度から出荷を開始し、レンコンの最需要期である年末期間には約2トンの出荷を行うことができたが、来年はもっと出荷量を増やしていきたいと話します。組合での勉強会だけでなく新規就農者の集まりにも加わって、肥料メーカーの職員を招いてのは場巡回や県の農業改良普及課職員による講義など、自分たちの課題をふまえた勉強会に参加しています。「栽培についての勉強はもちろんです。一緒に農業を学ぶ仲間たちがいることも励みになりますし、心強さを感じています」と大島さんは話します。

収量を増やすため、来年には1.6haまで栽培面積の拡大を目指すという大島さん。より多くのほ場で経営をするために、従来の鍬掘りの方法に加え、収量性が高い水掘りでの栽培に挑戦していきます。導入にはポンプを使った収穫方法と水掘りに適した品種の栽培について新たに学ぶ必要があります。現在は水掘りをしている仲間のほ場で実際に収穫を体験したり、栽培方法や導入に際し必要となる費用や機械などについて話を聞き計画を立てています。

「独立してからは、作業のスケジュールを自分で考えることができ、子どもたちとの時間がとれることがうれしいです。生産者として成長できるように、これからも勉強を続けていきます」と力強いメッセージをいただきました。

